

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原北公園、道保川公園、相模原麻溝公園、相模大野中央公園
指定管理者名	公益財団法人相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。（都市公園法第1条） 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	◆相模原北公園（平成3年供用開始）： 北部地域における公園緑地の拠点として整備されている。公園内に北総合体育館、多目的広場アジサイ園などがある。 ◆道保川公園（昭和59年供用開始）： 相模原近郊緑地保全地区内に位置し、良好な自然環境を有する風致公園である。自然のなかで、じかに野鳥や植物の観察などを体験しながら、自然への認識を深めることができる。野鳥観察ゾーン・山野草観察ゾーン・森林生態観察ゾーン・水生動植物観察ゾーン等がある。 ◆相模原麻溝公園（昭和60年供用開始）： 北側に県立相模原公園、西側に女子美術大学が隣接し、公園内を横浜水道道が通っている。大花壇、センター広場、芝生広場、グリーントワー相模原、フィールドアスレチック、多目的広場がある。一部首都圏近郊緑地保全地区指定区域に含まれる。総合公園。 ◆相模大野中央公園（平成2年供用開始）： 小田急線相模大野駅周辺地区に位置しており、買物や、通勤、通学などで中心市街地に集う人々や地域住民の憩いの場を目指している。近隣公園。
施設所管課	環境経済局 公園課

2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ボランティア参加者数（人）	2,834	1,778	2,307	2,378	2,659

3 成果指標の達成度

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
評価（5評価）	S	S	S	S	S		20

指標1

指標名（単位）	ボランティアの全体登録者数（人）
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	230	230	230	230	230
実績値（人）	266	260	254	268	265
達成度（%）	115.7%	113.0%	110.4%	116.5%	115.2%

指標2					
指標名（単位）	緑化活動の回数（回）				
指標式と指標の説明	達成度＝実績値／目標値				
項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（回）	50	50	50	50	50
実績値（回）	164	200	270	196	130
達成度（％）	328.0%	400.0%	540.0%	392.0%	260.0%

4 事業の実施状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
評価（5評価）	A	A	A	A	B		14

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
クレマチスフェア	クレマチス花鉢展示やクレマチス園芸相談等を行う事業。	緑化の普及啓発、公園の利用促進、地域活性化に繋がった。
アジサイフェア	アジサイ花鉢や、アジサイ挿し木苗配布等を行う事業。	緑化の普及啓発、公園の利用促進、地域活性化に繋がった。
オータムフェア	花苗販売や園芸相談、ボランティア団体の出展等を行う事業。	緑化の普及啓発、公園の利用促進、地域活性化に繋がった。
ボランティア育成事業	除草作業を始めとする植栽管理の一部をボランティアとの協働により実施する事業。	市民参加型の公園管理が実践された。

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
菊づくり講習会	ボランティア団体（親菊会）との連携して実施した菊づくりに関する講義及び実技指導。	地域団体との連携強化、緑化の普及啓発に繋がった。
紙芝居	ボランティアによる園内での紙芝居実施	公園の利用促進、地域団体との連携強化に繋がった。
太極拳	戸外でのびのびと太極拳の動きを学ぶ事業。	公園の利用促進、新たな利用者層の取り込みに繋がった。
緑化フェア	花苗販売やワークショップを開催。	公園の利用促進、新たな利用者層の取り込みに繋がった。

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
季節の花苗販売	指定管理者が生産している花苗を管理事務所で販売。	公園の利用促進、みどりの普及啓発に繋がった。
クリスマスイルミネーション	公園内花時計の場所にイルミネーションを職員により設置。	冬季の公園利用促進、地域活性化に繋がった。
職業体験受け入れ	市内中学生の職業体験を受け入れ	公園の教育への活用、社会貢献に繋がった。
寄せ植え教室	季節の花を使い長く楽しめる寄せ植え作りを学んでいただく事業。	緑化の普及啓発、公園の利用促進に繋がった。
初日の出観賞会	元旦に展望塔から初日の出を観賞する事業。	公園の利用促進に繋がった。

5 利用者の満足度

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
評価（5評価）	A	A	A	A	A		15

利用者満足度調査

調査手法	聞き取り等によるアンケート集計／年2回／サンプル数 年間600
目標値の基準	施設を利用した感想として「大変よかった」、「良かった」の合計の割合

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（％）	95.0	95.0	92.0	91.0	93.8
達成度（％）	105.6%	105.6%	102.2%	101.1%	104.2%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容	
ご意見箱の設置	通年	管理事務所に意見箱を設置し、自由なご意見を投函することを可能とした。当事者が回答を望む場合については、掲示板に回答を一定期間掲示している。
ホームページの問合せ	通年	24時間、365日受け付けることが可能となっている。来園を検討されている方や対面または電話などによるご意見が難しい利用者の意見を伺うことができる。ご意見に関してはEメールにより都度回答をしている。
事業毎のアンケート	事業都度	自主事業を実施した際、利用者ニーズを図るために実施している。ニーズを反映し事業を実施することで、参加率の向上を図っている。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
食事等ができる場所を増やして欲しい。	土日祝日、長期休暇期間を中心にキッチンカーの出店を行いました。
樹木の名前がわかるようにして欲しい。	樹名板を更新し、古いものは新しく、また数も増やしました。
コロナ禍で密とならないよう注意喚起して欲しい。	展望塔のエレベーター内のマットを密とならないよう注意を促すデザインに変更しました。

6 施設の経営状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
評価 (5評価)	A	A	A	B	A		14

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	186,546	190,276	189,489	192,329	190,103
指定管理料	186,546	188,203	188,203	188,203	188,203
利用料金収入	0	0	0	0	0
その他の収入	0	2,073	1,286	4,126	1,900
支出 (b)	190,927	196,499	198,515	202,822	193,239
人件費	78,591	80,613	81,704	81,653	82,600
本社管理経費	8,960	10,301	9,712	10,530	0
その他の支出	103,376	105,585	107,099	110,639	110,639
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)	-4,381	-6,223	-9,026	-10,493	-3,136
自主事業収入 (d)	12,959	12,217	13,372	13,791	15,075
自主事業支出 (e)	2,409	2,433	2,572	2,620	1,963
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)	10,550	9,784	10,800	11,171	13,112
全体収支 [(c)+(f)]	6,169	3,561	1,774	678	9,976
備考					

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	有	有	無	無	無
主な加点内容	草花の管理運営について	草花の管理運営について			

8 指定管理者の自己評価

令和元年度から令和5年度までの指定管理期間においては、様々な自主事業の実施に加え、地域団体との連携について積極的に取り組んだ。一方で、園内の樹木・植栽等管理について、来園者の皆様が安心・安全にご利用いただける環境を整備するなど、適切な管理運営に努めた。

また、修繕費や委託費の予算を超過した各種業務については、剰余金の還元として、5年間合計で2,500万円以上実施するなど、利用者の利便性向上と安心・安全な施設環境の提供に努めた。

さらに、公園フェアなど様々なイベントへの取り組みにより、利用者満足度は全ての年度において90%以上となり、来園者の皆様から一定の評価をいただいたと考える。

9 所管課意見

5年間を通じて、ほぼすべての指標においてA評価以上となっており、日常の維持管理や利用者満足度の高さから安定した公園管理運営に務めていただいたことは大いに評価できる。

事業を多く実施いただいたことで、公園の魅力向上につながっているが、既存事業については規模の拡大等により多くの方に参加いただく開催方法の検討をお願いしたい。

10 選考委員会意見

コロナ感染症という未曾有の事態に見舞われ、日常の活動が厳しく制約される中、日々の管理運営における質の高さは評価できる。特にボランティアとの連携による相乗効果が評価できる。ボランティア活動等により、公園の活性化がみられことから、うまく事業にも結びつけ収益確保を目指すことも考えられるのではないかと。

その他

倒木等の報告もあることから、園内特に園路にかかる高木、高齢木については専門家による健全度、安全診断を受けるとともに植栽計画を立案・見える化し、それに基づき安全管理に努めること。

総合評価（自動判定）

A

(79/100)

